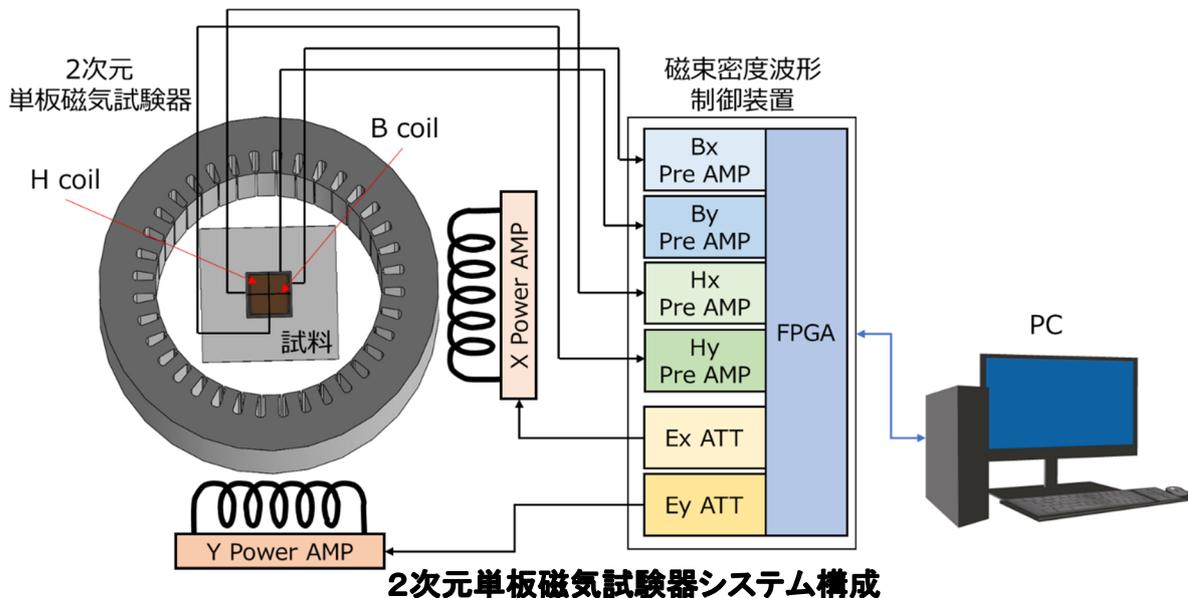


2次元単板磁気試験器

R2D-SST-60 Series

高磁束密度に対応した新型励磁器を開発

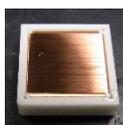
電磁鋼板の評価には全方向の磁気特性を知る必要があります



高磁束密度対応の新型励磁器&FPGA 搭載による高速測定



新型励磁器



ダブル
Hコイル

高磁束密度領域で評価を可能にする新型励磁器を開発しました。

- ・2T の高磁束密度領域の測定を可能にしました。
- ・磁界強度測定:ダブルHコイル法を採用
- ・磁束密度測定:探りコイル法を採用
(探針法での測定も可能です。)

測定の高速化に FPGA (Field-Programmable Gate Array) を搭載し、短時間に測定します。

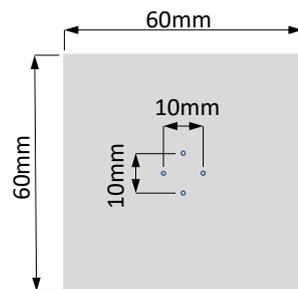
測定試料サイズ

測定試料サイズ: 60mm × 60mm

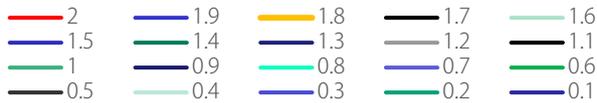
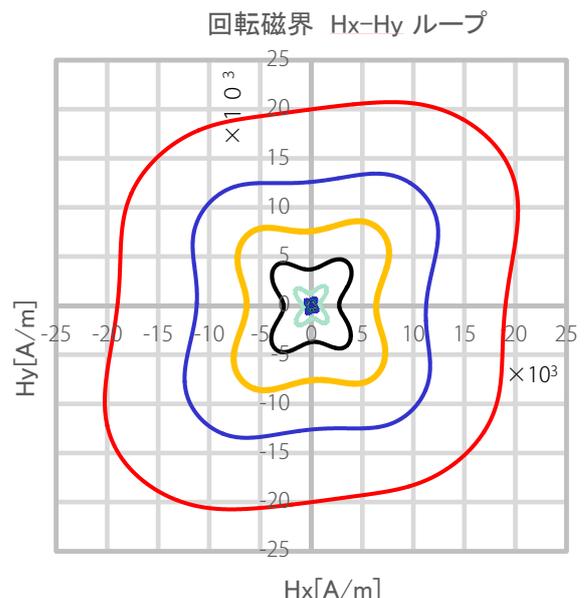
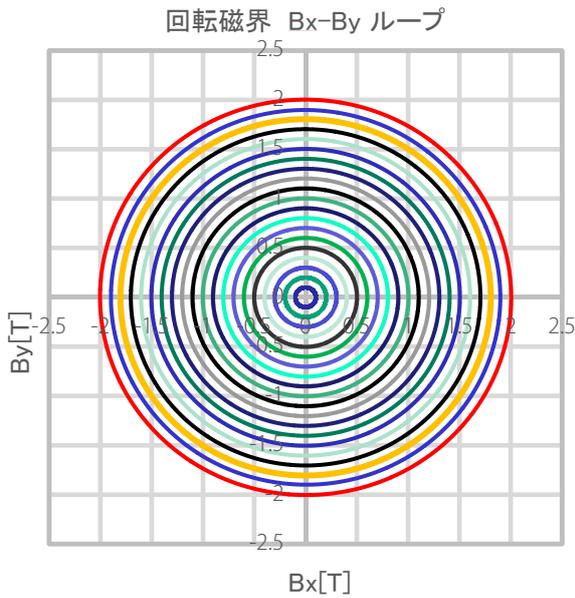
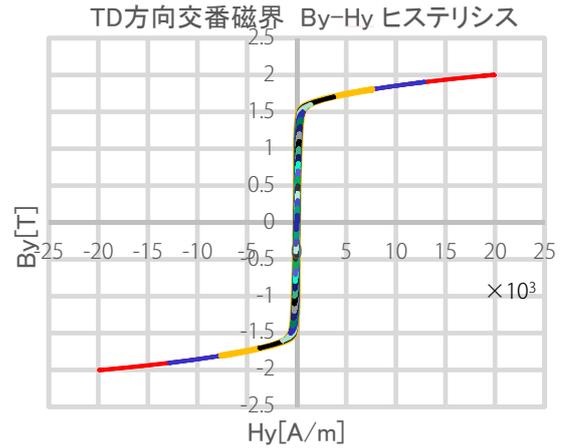
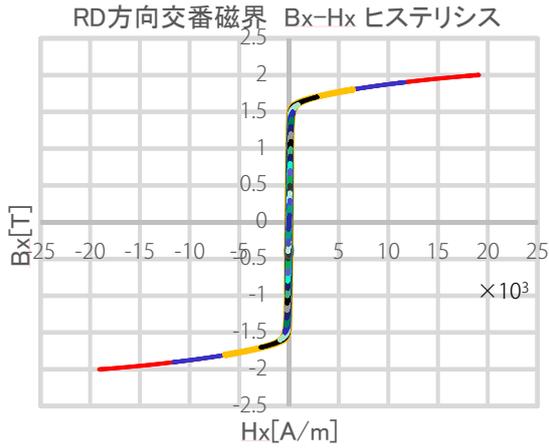
最大φ109mm まで対応可能です。

探りコイル用穴ピッチ: 10mm

磁束密度は探りコイル以外に探針法で測定可能です。



測定例 50A1300 50Hz



仕様

項目	仕様	備考
システム仕様	磁界強度:ダブルHコイル法	Hコイル寸法 10mm×10mm
	磁束密度:探りコイル法	Bコイル間隔 10mm
試料寸法	60mm×60mm	最大 φ109mm
磁界強度の均一領域	±0.5%以下	評価領域 10mm ³
測定モード	交番磁束	位相角:0-90deg (5deg/ステップ)
	回転磁束	短、長軸比:0.1-1.0 (0.1/ステップ)
磁束密度波形制御	正弦波制御	歪み率、振幅率
最大発生磁界	約 13,000A/m	
測定周波数	50Hz~1kHz	
サンプリング数	8192点/50Hz	